

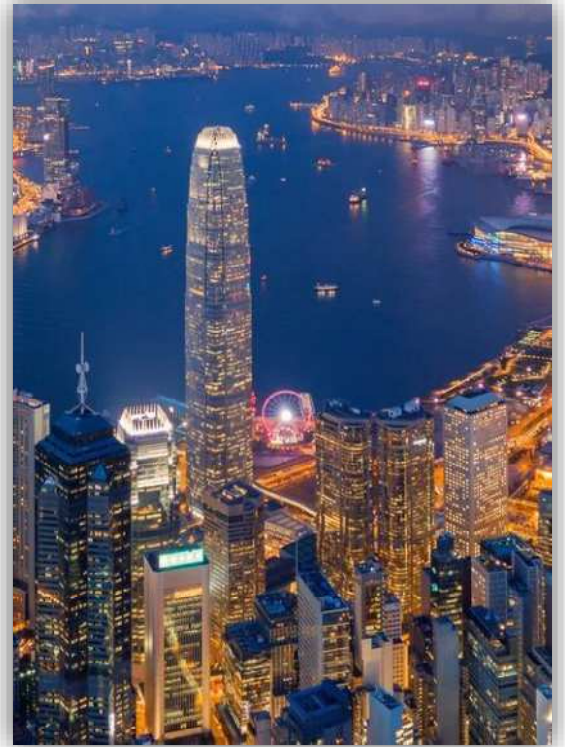
Q-NITTO海外法人だより～香港～

2024年1月 Vol.06

《香港のビジネス環境と主要産業》

総論

東アジアに位置し、中国に隣接している香港は自由港であり、税制優遇などの措置が取られ、各国企業が集積し、世界金融センターと評価されています。自由な金融体系、国際化環境、そして低い税率のおかげで、香港は国際都市の一角を占めます。



【ビジネス環境】

- 地理的優位性：アジアの中で重要な位置、中国本土へのゲートウェイであり、各業界は優勢を活用して業務を発展するチャンスに恵まれている。
- 国際化の言語環境：700万人以上の人口で最も多いのが華人で、外国人は約50万、日本人は約1万2千人となる。広東語を中心として、英語と中国語を活用する人が多く、他国言語を堪能する人は各業界で活躍している。
- 政治的安定性：独自の通貨、政治・市場開放度を維持している香港は、世界経済自由度ランキングの上位となっている。
- 低税率体系：世界中各国と比較して全般的に低税率であり、税金の種類自体も少ない為、多くの企業が香港に進出している。



【主要産業】

- 金融：国際金融センターとして、世界中の銀行・証券会社・保険会社など金融関係の会社が香港に集まっており、プロの投資家が大勢居る。
- 観光：何十年も前から香港はアジアで有名な観光地となっている、毎年百万人以上の訪問者に達する。市内成熟した交通体系、各国への航空便が多い、多様なメリットがある。



- 貿易と物流：昔から地理優勢で貿易活動が活躍しており、アジアの中で香港経由の商流が多い。低い関税と簡素化される税関手続きなど貿易活動をスムーズになっていく。
- 専門家およびその他ビジネスサービス：会計士と弁護士などの専門家が集まってビジネスサポートを提供し、より業務を発展しやすい環境になる。

総じて、香港は地理位置、低税率、豊かな言語環境、各種の支援サービス、様々な優勢性を持ち、国際ビジネスセンターとして誇ります。既有優勢を維持し、中国との繋がりおよび新たな発展性を伴い、アジアだけではなく、世界中でもより重要なビジネス拠点になっていくでしょう。